



2025年2月19日
第152号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横浜地本第29回定期委員会開催！



横浜地本は2月16日、かながわ労働プラザにおいて第29回定期委員会を開催し、スローガン、運動方針を含め、2025 JR総連春闘勝利に向けて全組合員でたたかい抜くこと、「被害者が加害者にされた！ JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」において個人訴訟に持ち上がった若き組合員の決意に応え、全組合員と共に裁判支援闘争をたたかい抜くこと、全組合員で2025 JR総連春闘勝利と組織強化・拡大を実現していくことを満場一致で確認しました！（詳細は次号以降）

委員会スローガン

1. 組合員の雇用と利益を守り抜くために、不当・不法行為とあらゆる妨害を許さないたたかいを強化し、25春闘勝利！過半数代表者選挙勝利！1万名組織をめざし、組織強化・拡大を実現しよう！

1. 戦後80年、JR羽越本線脱線事故・JR福知山線脱線事故から20年。過去から学び現実に向き合い、「抵抗とヒューマニズム」の精神を根底に、職場からのたたかいで平和な社会と安全第一の職場をつくり出そう！

確認された委員会宣言

委員会宣言

JR東労組横浜地本は2月16日、かながわ労働プラザにおいて第29回定期委員会を開催し、2025 JR総連春闘勝利に向けて全組合員でたたかい抜くこと、「被害者が加害者にされた！ JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」において個人訴訟に持ち上がった若き組合員の決意に応え、全組合員と共に裁判支援闘争をたたかい抜くこと、過半数代表者選挙勝利に向けてたたかい抜くことを満場一致で確認した。

会社は年末手当交渉で2.8カ月+0.1カ月と現場の努力に報いない超低額回答を示してきた。JR東労組本部は再申し入れをし、組合員・未加入者の16,387件にもおよぶ声を訴えたが「声は受け止める」としながら「受け入れる」ことはなく、「一定数納得の声があるのも事実」とし再考することはなかった。2022年度から夏と冬の手当の差が約0.1カ月しかなく、JR東海やJR西日本のように年間踏給をめざす会社の狙いを、地本討議資料を活用して明らかにしてきた。

私たちは、賃金が物価上昇に追いつかず、「融合と連携」の名の下、過去最高の働き度で苦勞している職場実態を会社に訴えるために「労働実態・生活実感を訴え2025 JR総連春闘要求を私たちがつくり出そう！」をスローガンに春闘メッセージ行動を取り組んでいる。組合員・社員の声の武器にベア一律15,000円満額獲得と「安全・健康・ゆとり」ある職場を実現するために全組合員でたたかい抜こう。

JR東日本の安全は危機的と言わざるを得ない。人に対する投資を蔑ろにし、各職場が要員不足のなか、教育や技術継承の課題も浮き彫りとなっている。さらに、「融合と連携」により一人何役も担い組合員・社員は疲弊するばかりで、心身の健康を保てず、安全レベルの低下につながっている。労働者視点で原因究明し、職場から安全文化を構築しよう。

異常な職場管理体制から発生したのが、「被害者が加害者とされた！ JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」だ。被害者の組合員は、団体交渉等労働協約で解決できないと判断し、自身の身の潔白と異常な会社姿勢を是正するため、自身が抑止力となる決意で、会社を相手に個人訴訟を起こした。当該組合員は事件当時、社友会会員で未加入者であった。強権的な会社姿勢は誰にでも降りかかる。他人事ではいられない。健全なJR東日本をつくるため、全組合員と共に、裁判支援闘争を最後までたたかい抜こう！事実の隠ぺい、歪曲により被害者を加害者とする会社姿勢を組合員・未加入者に明らかにし、社友会が社員を守らないことと、JR東労組の必要性を訴え、過半数代表者選挙の勝利をめざしていく。

戦後80年、歴史から戦争と労働組合の弾圧が密接にかかわっていることを学んできた。労働者の命と利益と雇用を守る労働組合だからこそ、JR東労組は平和運動を取り組む。日本でも目の前に戦争が迫っていることと、戦争が一部の者の利益のためであり、犠牲になるのは労働者・市民であることを沖縄平和研修で学んできた。鉄道は戦争で軍事利用され、鉄道労働者は戦争の加害者にも加担者にも被害者にもなり得る。だからこそ、憲法9条を守り、「あらゆる戦争政策」「鉄道の軍事利用」に反対していく。

定期大会以降で2名の組織拡大が実現した。その教訓は、継続的な関わりによって、本人が組織の必要性を感じ加入を決意したことだ。具体的な行動を実践し、共有し、横浜地本全体の力を結集し、新たな仲間とともに更なる組織強化・拡大を成し遂げていくのではないかと！

以上、宣言する。

2025年2月16日
東日本旅客鉄道労働組合
横浜地方本部
第29回定期委員会

2025 JR総連春闘、武蔵小金井駅暴行事件、過半数代表者選の勝利！

「やい切るんだ」という気概をもって、一人ひとりが自らの言葉で語り、価値観の一致を図り、組織強化・拡大を全組合員で実現しよう！



金子委員 議

5年、10年先を見据えた運動をつくり出していく必要性を発信し、円滑に議事を進めてくださった金子議長、ありがとうございました！